

第 3 編 アンケート実態調査票編

2010 年
病院における地球温暖化対策自主行動計画フォローアップのための
調査概要について

施設長 殿

この度は、調査にご協力頂き誠にありがとうございます。

本調査は、平成20年8月に策定した、「病院における地球温暖化対策自主行動計画」のフォローアップ調査、すなわち、その後の各病院におけるエネルギー使用量及び対策等の実施状況を把握させて頂くことを目的として、昨年度に引き続き実施するものです。

つきましては、貴施設における平成21年度中のエネルギー使用量及び地球温暖化対策の実施状況について、同封致しました調査票に示した順序でご記入の上、**10月15日（金）までにご返送くださいますようお願いいたします。**

ご提出頂いた内容につきましては、堅く秘密を守り、統計処理する以外には一切使用いたしません。

ご多忙とは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、格段のご協力を賜りますようお願いいたします。なお、ご不明な点等がございましたら、日医総研担当まで照会頂きますようお願いいたします。

以 上

「送付資料」

調査票

（調査票1）病院概要票（平成22年9月1日時点）

（調査票2）エネルギー使用量調査票

（調査票3）エネルギー消費等地球温暖化対策に関する調査票

省エネ活動実施状況のフィードバック票

2009年 病院における地球温暖化対策自主行動計画フォローアップ報告書

■調査対象・項目・方法

(1) 対象施設

50床以上の病院 4,667施設

(2) 回答者

施設管理担当者(事務長等)

(3) 調査項目

医療機関プロフィール、平成 21 年(2009 年)4 月～平成 22 年(2010 年)3 月におけるエネルギー使用量、地球温暖化対策の実施状況 等

(4) 調査方法

日本医師会から調査対象施設に直接、調査票を発送。

医療機関が必要事項を調査票に記入後、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送。

回収率を高めるため、葉書による督促状を送付。

■調査スケジュール

平成 22 年	9 月	24 日	:	調査票発送(協力依頼)
平成 22 年	10 月	15 日	:	当初の調査票回収締め切り
平成 22 年	10 月	31 日	:	督促状を送付し、回収締め切り日を延期
平成 23 年	3 月	31 日	:	集計・分析結果とりまとめ

「問い合わせ先」

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16 日医総研(担当:黒田)

E-Mail: ondan@jmari.med.or.jp

本調査専用電話: 03-3942-6472 (受付時間: 平日 10:00~16:00)

※ご照会は原則、電子メールでお願いいたします。折り返しメールまたは電話でご回答させていただきます。

病院概要票 (調査票1)

平成22年9月1日時点の貴施設の事業所としてのプロフィール等についてお伺いします。
 (1)～(13)の枠内にご記入、または該当するものに○印をつけてください。
 なお、ご記入頂く内容は「(6)延べ床面積」に対応するものを基本として下さい。

(1) 法人名												
(2) 病院名												
(3) 病院種別	1. 一般病院			2. 精神科病院			3. その他					
(4) 開設主体	1. 日赤・社会保険関係団体			2. 公益法人(社団・財団等)			3. 医療法人					
	4. 私立学校法人			5. 社会福祉法人			6. 営利法人(会社)					
	7. その他の法人			8. 個人								
(5) 許可病床数	,			床 (うち療養病床)					
(6) 延べ床面積	延べ床面積			,						m ²	・小数点以下は 四捨五入して下さい	
	上記の延べ床面積のうち築年数 が15年未満(平成8年度以降)の 面積の割合			.						%	・小数点第1位まで ご記入下さい	
<p>※上記の延べ床面積は病院の使用面積をご記入ください。 併設の病院以外の施設面積は、全体の延べ床面積から除外してください。</p>												
(7) 部門別 面積比率	以下の7つの部門について面積比率をご記入下さい。(概数で結構です。)											
	病棟	(病室、ICU、ナースステーション、W C・汚物処理、ディルームなど)								%		
	外来	(待合、診察室、処置室など)								%		
	中央診療部門	(放射線部、検査部、手術部、中材部、 特殊治療室など)								%		
	供給部門	(薬局、洗濯室、廃棄物処理室など)								%		
	管理部門	(事務、医事、医局、会議室など)								%		
	厨房	(入院食用主厨房、食堂)								%		
	物販・飲食	(喫茶、コンビニ、食料品店など)								%		
共有	(玄関ホール、廊下、階段、昇降機、電 気室、機械室など)								%			
(8) 駐車場 敷地面積	駐車場の敷地面積						,				m ²	・小数点以下は 四捨五入して下さい

エネルギー使用量調査票（調査票2）

貴施設の延床面積に対応する平成21年度（2009年度）の使用量の値を、お使いの各エネルギー毎に単位を確認の上、小数点未満を四捨五入してご記入ください。

(1) 電力使用量

【ご記入の際の注意点・お願い】

- ① 電力使用量(昼間・夜間の合計)について、平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)の1年間の請求書データを合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 電力使用量のデータは「お客様番号」ごとに記入して頂き、「お客様番号」(請求書)が複数ある場合には、番号ごとに記入をお願いします。
※施設建物と別契約で、公衆街路灯、駐車場、看護師寮等がある場合は、調査対象外となります。検針時に配付する「電気使用量のお知らせ」が複数枚ある場合はご留意下さい。
- ③ 電力使用量データのご記入に際して、伝票等不備がある場合、次ページの電力会社と契約をしている施設については、担当窓口の本調査に記入する旨を連絡すると、契約者(本人)の確認の後、1～2週間のうちに、当該1年間の使用量の連絡が来るようになっていきます(次ページ注意点をご確認の上、お問い合わせください)。
- ④ 電力使用量は、電力会社等からの購入電力量のみをご記入ください。
- ⑤ 継続的フォローアップのため、今後引き続きご協力をお願い致したく、請求書データの保管をよろしくお願い致します。

【お客様番号(請求書)が1つの場合】

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)の電力使用量							
							千kWh

【お客様番号(請求書)が複数の場合】

* お客様番号ごとに記載してください。

お客様番号	平成21年度の電力使用量						
							千kWh
							千kWh
							千kWh
							千kWh
							千kWh

お手元の請求書データで1年間の電力使用量をご記入する場合、または次ページ電力会社以外と契約されている場合は、月別の請求書を合計して、1年間の電力使用量をご記入下さい。

＜「電力使用量のデータ提供に関する申込」連絡先＞

＜電力会社にお問い合わせの際の留意点＞

- ・電力会社からの回答が、1～2週間かかることもあります。
- ・お問合せの際は、契約者(本人)の確認等が必要になりますので、検針時に配付される「電気使用量のお知らせ」をご用意ください。数点質問される場合もあります。
- ・電話の取次ぎが必要な場合等のため、「日本医師会からの電気使用量に関するアンケート」に記入する旨をお伝えください。
- ・回答は電話対応のみとなっています(書面での回答は不可です)。
- ・受付時間は各社で異なりますが、平日9:00～17:00は各社対応可能です(夜間・休日は対応不可)。

契約電力会社	担当窓口	連絡先 (一部は受け持ちエリア別)		
北海道電力(株)	各支店・営業所	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号にお問合せ下さい。 (その際、法人担当窓口にて用件がある旨、お伝えください。)		
東北電力(株)	東北電力コールセンター	0120-175-466 : 受付時間 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)		
東京電力(株)	各カスタマーセンター	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号(カスタマーセンター)		
中部電力(株)	法人カスタマーセンター	0120-210-035 : 受付時間 8:30～17:00(土曜・日曜・祝日除)		
北陸電力(株)	富山支店営業部営業担当	076-433-2398	富山県内	
	石川支店営業部営業担当	076-233-8881	石川県内	
	福井支店営業部営業担当	0776-29-6980	福井県内(美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町は除く)	
関西電力(株)	大阪北支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	06-6377-7354	大阪府 能勢町、豊能町、池田市、箕面市、茨木市、高槻市、島本町、豊中市、吹田市、枚方市、摂津市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四条畷市、大東市、大阪市(淀川区、東淀川区、旭区、都島区、北区、西淀川区、此花区、福島区、西区、港区、大正区、中央区、城東区、鶴見区、東成区、天王寺区、生野区)	
	大阪南支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	06-6676-2240	大阪府 大阪市(中央区、浪速区、天王寺区、生野区、西成区、阿倍野区、住之江区、住吉区、東住吉区、平野区)、東大阪市、八尾市、松原市、藤井寺市、柏原市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、河内長野市、堺市、高石市、泉大津市、忠岡町、和泉市、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町	
	京都支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	075-344-7552	京都府 京都府内	
	神戸支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	078-220-0049	福井県 高浜町、おおい町、小浜市、若狭町、美浜町	
	姫路支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	079-227-0639	兵庫県 三木市、小野市、加古川市、稲美町、播磨町、高砂市、加西市、加東市、西脇市、多可町、姫路市、太子町、福崎町、市川町、神河町、朝来市、養父市、豊岡市、香美町、新温泉町、宍粟市、たつの市、相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、神戸市北区淡河町	
	奈良支店 お客さま室エネルギー営業グループ	0742-27-2941	奈良県	奈良県内
	滋賀支店 お客さま室エネルギー営業グループ	077-527-5843	滋賀県	滋賀県内
	和歌山支店 お客さま室 エネルギー営業グループ	073-463-0626	和歌山県 三重県	和歌山県内 紀宝町、御浜町、熊野市
中国電力(株)	各営業所※営業所への電話はカスタマーセンター受付	担当の営業所および電話番号(フリーダイヤル)については、「検針のお知らせ」またはホームページでご確認ください。		
四国電力(株)	各支店・営業所	「電気使用量のお知らせ」に記載された電話番号にお問合せください。		
九州電力(株)	各営業所 ※ 営業所への電話はコールセンターで受付	担当の営業所および電話番号(フリーダイヤル)については、「検針のお知らせ」またはホームページでご確認ください。		
沖縄電力(株)	お客さま本部ソリューション営業部 電化提案グループ	098-877-2341 (内線3634)		

※上記問い合わせ先は、本調査における期間限定となっております。

(2) 都市ガス使用量

【ご記入の際の注意点・お願い】

- ① 都市ガス使用量について、平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)の1年間の請求書データを合計して頂き、下表に記入してください。
- ② 都市ガス使用量のデータは「お客様番号」ごとに記入して頂き、「お客様番号」(請求書)が複数ある場合には、番号ごとに記入をお願いします。
- ③ 都市ガス使用量データのご記入に際して、ご不明な点がある場合、検針票等により「契約都市ガス会社」「お客様番号」をご確認の上、下表の都市ガス会社と契約をしている施設については、担当窓口にお問い合わせ下さい。契約者(本人)の確認の上、回答可能な範囲において対応いただけます。なお、一部契約都市ガス会社によっては、回答に1～2週間必要とする場合があります。
- ④ 継続的フォローアップのため、今後引き続きご協力をお願い致したく、請求書データの保管をよろしくお願い致します。

【お客様番号(請求書)が1つの場合】

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)の都市ガス使用量									
									m ³

【お客様番号(請求書)が複数の場合】

*お客様番号ごとに記載してください。

お客様番号	平成21年度の都市ガス使用量									
										m ³
										m ³
										m ³

「都市ガス使用量に関する問い合わせ先」

契約都市ガス会社	担当窓口	担当者	連絡先
北海道ガス(株)	エネルギー営業部 都市エネルギーグループ	奥山	011-207-2080 (平日 ^{**} 9:00～17:30)
仙台市ガス局	営業推進部 都市エネルギー営業課 エネルギー推進係	後藤・古藤野	022-292-7709 (平日 ^{**} 8:30～17:00)
京葉ガス(株)	エネルギー開発部 都市エネルギー営業センター エネルギー営業グループ	菊池	047-325-4011 (平日 ^{**} 9:00～17:00)
北陸ガス(株)	お客様担当支社	料金担当	新潟支社：025-229-7000 長岡支社：0258-39-9000 (平日 ^{**} 8:30～17:10)
東京ガス(株)	お客様センター	—	0570-002211 (月～土曜 祝日除く 9:00～17:30)
静岡ガス(株)	お客様担当支社	—	検針票に記載の問い合わせ先電話番号
東邦ガス(株)	都市エネルギー営業部 営業第二グループ	斉藤・安藤 ・栗本	052-872-9213 (平日 ^{**} 9:00～17:45)
大阪ガス(株)	お客様センター または以下のURLにて受付 https://www5.osakagas.co.jp/custserv/idx_ryokin.html	—	0120-011480 (平日 ^{**} 9:00～17:30)
広島ガス(株)	業務用エネルギー営業部	—	082-252-3023 (平日 ^{**} 9:00～17:00)
西部ガス(株)	都市エネルギー営業部 市場総括グループ	—	092-633-2006 (平日 ^{**} 9:00～17:45)

※祝日を除く、月曜日～金曜日

(3) 液化石油ガス(LPG)・油(重油・灯油)・上水道・ガソリン・軽油の使用量

【ご記入の際の注意点・お願い】

- ① 液化石油ガス・油・上水道・ガソリン・軽油の使用量は、平成21年度計の数値をご記入下さい。
- ② 使用量は、施設の延べ床面積に対応して使用された数量をご記入ください。
- ③ 使用量は、各契約供給会社の請求書にてご確認ください。
- ④ 請求書が複数にわたる時は、すべての請求書に記載されている使用量を合計してご記入ください。欄が足りない場合は本票をコピーの上、ご記入ください。

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)の使用量										
液化石油ガス (LPG)										m ³
		,			,					
重油										kℓ
		,			,					
灯油										kℓ
		,			,					
上水道										m ³
		,			,					
ガソリン										kℓ
		,			,					
軽油										kℓ
		,			,					

エネルギー消費等地球温暖化対策に関する調査票（調査票 3）

以下の設問について、該当する番号に○印をつけるとともに、記入欄がある場合には、数値等をご記入ください。

Q1. エネルギー消費量削減(省エネルギー)の推進について

Q1-1 貴施設でのエネルギー消費量を削減することへの取り組み状況を自ら評価した場合、次のどれに該当しますか？(1つに○印)

1. 積極的に取り組んでいると思う
2. ある程度取り組んでいると思う
3. あまり取り組んでいないと思う
4. 全く取り組んでいないと思う
5. わからない

Q1-2 平成 21年度に省エネルギー活動を部署、委員会等の組織を設置して取り組みましたか？(1つに○印)

1. 平成 20 年度以前に設置して取り組んでいる
 2. 平成 21 年度に組織を設置して取り組んでいる
 3. 組織を設置しないが取り組んでいる
 4. 今後、組織を設置し取り組む予定である
 5. 今後とも組織を設置し取り組む予定はない
 6. 取り組んでいない
- } 1～4 を選択した方は Q1-4 へ
- } 5～6 を選択した方は Q1-3 へ

Q1-3 取り組んでいない場合、取り組んでいない具体的な理由は何ですか？ 該当するもの全てに○印をつけてください。

1. 省エネルギー活動を推進するために、現状のエネルギー使用量を把握・評価することが困難である
2. 省エネルギー活動の意義が明確に理解できない
3. 省エネルギー活動は複雑で、取り組み方がわからない
4. 行政が示す省エネルギー活動に関する情報が複雑で、なかなか理解できない
5. 省エネルギー活動のための費用を捻出することが病院経営上困難である
6. 病院内で省エネルギー活動に対する理解が得られない
7. 省エネルギー活動を推進する専門的な人材がいない
8. 病院機能と省エネルギー活動が矛盾することがある
9. 病院内で省エネルギー活動に対する関心が少ない
10. その他(具体的にお書き下さい。)

Q1-4 貴施設で前年度に比べ、電気・ガス・石油等の使用量に影響を与えたと思われる医療業務や環境の変化について該当するもの全てに○印をつけて下さい。

1. 外来患者数の変化
2. 入院患者数の変化
3. 4～6人の病室を少人数室・個室に変更
4. 高度な医療機器・検査機器の導入
5. 情報システム機器の導入
6. 診療科目の変更
7. 救急医療機能の導入
8. 患者サービスの向上(コンビニ設置等)
9. 職員のための福利厚生施設の整備
10. 気象の変化
11. 石油価格の大幅変動
12. その他()

Q2. 地球温暖化対策におけるエネルギー削減目標について

Q2-1 貴施設では独自にエネルギー消費量の削減目標の設定および実行計画を策定していますか？(1つに○印)

- | | | |
|----------------|--------------------|-----------------|
| 1. <u>している</u> | 2. <u>これからする予定</u> | 3. <u>していない</u> |
| ↓ | ↓ | |
| (Q2-2へ) | (Q3へ) | |

Q2-2 今後1年間の削減率(対前年度比(%))を設定していれば、設定しているものについて下表にご記入下さい。削減率は、使用量を用いて下記の式で算出した値を記入してください。

$\text{削減率(\%)} = 100 - \frac{\text{今後1年間のエネルギー使用量}}{\text{過去1年間のエネルギー使用量}} \times 100$
%/年

Q3 4病院団体及び日本医師会の「病院における地球温暖化対策自主行動計画」及び、厚生労働省の「病院における省エネルギー実施要領」などについて

Q3-1 貴施設は、4病院団体及び日本医師会が2008年8月に策定した「病院における地球温暖化対策自主行動計画」の内容を知っていますか？

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 聞いたことはあるが詳しいことは知らない
4. 全く知らない
5. わからない

Q3-2 貴施設は、厚生労働省の「病院における省エネルギー実施要領」の内容を知っていますか？

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 聞いたことはあるが詳しいことは知らない
4. 全く知らない
5. わからない

※厚生労働省では、2008年3月に病院のエネルギー管理において参考となる実施要領を定め、公表しました。
(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/iryuhoken06/youryou.html>)

Q3-3 貴施設は、現在政府が進めている CO₂削減目標－2020年までに1990年比でCO₂排出量25%削減－の内容について知っていますか？

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 聞いたことはあるが詳しいことは知らない
4. 全く知らない
5. わからない

Q4 エネルギー消費に影響する建築工事や設備工事について

Q4-1 地球温暖化対策として、過去5年間(平成17年度～平成21年度)に新築工事や修繕工事(増築・改築、改修工事)を行いましたか？該当するもの全てに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------------|-------------------------|-------------------|-----------------|
| 1. <u>新築工事を実施</u> | 2. <u>増築・改築、改修工事を実施</u> | 3. <u>工事していない</u> | 4. <u>わからない</u> |
| ↓ | ↓ | ↓ | |
| (Q4-2へ) | (Q4-3へ) | (Q4-5へ) | |

Q4-2 地球温暖化対策として、届出が必要な省エネ措置を伴う2,000㎡以上の新築工事を行いましたか？

- | | | |
|---------------|------------------|-----------------|
| 1. <u>行った</u> | 2. <u>行っていない</u> | 3. <u>わからない</u> |
| | ↓ | |
| | (Q4-5へ) | |

Q4-3 地球温暖化対策として、届出が必要な省エネ措置を伴う2,000㎡以上の大規模修繕工事(増築・改築、改修工事)を行いましたか？

- | | | |
|---------------|------------------|-----------------|
| 1. <u>行った</u> | 2. <u>行っていない</u> | 3. <u>わからない</u> |
| ↓ | ↓ | |
| (Q4-4へ) | (Q4-5へ) | |

Q4-4 その修繕工事の内容は何ですか？該当するもの全てに○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 屋根、床、壁の改修工事 | 2. 空調設備の更新 |
| 3. 換気設備の更新 | 4. 照明設備の更新 |
| 5. 給湯設備の更新 | 6. 昇降機設備の更新 |
| 7. 変電設備の更新(高効率変圧器への改修) | 8. その他() |

Q4-5 過去5年間(平成17年度～平成21年度)に、空調設備・衛生設備等のエネルギー源に関するエネルギー転換工事を行いましたか？(どれかに○印)
(エネルギー転換例) 主な燃料: 重油→電気へ変更、ガス→電気へ変更

- | | | |
|---------------|------------------|-----------------|
| 1. <u>行った</u> | 2. <u>行っていない</u> | 3. <u>わからない</u> |
| ↓ | ↓ | |
| (Q4-6へ) | (Q4-8へ) | |

Q4-6 そのエネルギー源の転換工事の主な内容はどのような事ですか？該当するものに1つ○印をつけてください。

1. 重油からガスへの転換
2. 重油から電気への転換
3. ガスから電気への転換
4. 灯油からガスへの転換
5. 重油からガスと電気への転換
6. 電気からガスへの転換
7. その他(具体的に)

Q4-7 エネルギー転換工事を行った理由は何ですか？該当するもの全てに○印をつけて下さい。

1. エネルギー使用の効率化により使用量を削減するため
2. エネルギーに関する費用削減のため
3. エネルギー源の機器が老朽化したため
4. エネルギー需要が増大して、エネルギー供給量を増大する必要があったため
5. エネルギー需要が減少して、エネルギー量を効率的に供給する必要があったため
6. エネルギー源の CO₂ 削減のため
7. その他(具体的にお書き下さい。)

Q4-8 今後 5 年間(平成 22 年度～平成 26 年度)に、2,000 m²以上の大規模な新築、修繕工事(増築・改築、改修工事)を行う予定がありますか？

1. 新築の予定がある
2. 増築・改築、改修工事の予定がある
3. ない
4. 未定

Q5 現在行われている省エネルギー活動や地球温暖化対策の状況について

Q5-1 次に掲げた項目毎の省エネ活動について、該当する状況を下記番号から選び、項目毎に回答欄にご記入下さい。病院内の一部での活動状況でも結構です。

- 1** 実施中 **2** 今後実施予定 **3** 病院という固有機能より未実施
4 未定(専門的なため判断することが出来ないことを含む) **5** 予定なし

上の番号を記入

	項 目	回答欄
例)	日中窓側の照明器具を消すこと	2
1	日中窓側の照明器具を消すこと	
2	照明器具の清掃、管球の交換	
3	高効率照明器具を使うこと	
4	使用時間にあわせ照明を点灯したり間引いたりすること	
5	省エネルギー型OA機器や電気機器を導入すること	
6	待機電力削減のため、電気機器やOA機器を使用していないときに、コンセントを外すこと	
7	エレベーターは閑散時に一部停止すること	
8	省エネ自動販売機を導入すること	
9	深夜電力の利用	
10	トイレ・手洗いに節水こまを使用する等、施設内における節水の推進をすること	
11	省エネを考慮した空調温湿度管理を行うこと	
12	空調での外気取り入れ量を適正に調節すること(手術室等を除く)	
13	空調運転の時間をなるべく短くすること	
14	夜間・中間期(春、秋)等は空調運転を止めること	
15	窓ガラスに遮熱フィルムを施工すること	
16	屋上緑化・周辺緑化を行うなど病院の緑化を推進すること	
17	屋上の断熱防水を行うこと	
18	外壁に断熱塗料を吹き付けること	
19	出入口に風除け室を設置すること	
20	定期的にフィルター清掃を行うこと	
21	建物外部の照明・広告等を省エネ化すること	
22	窓・壁・床・吹き抜け等、建築面から冷暖房負荷を低減させること	
23	温度調節機能付シャワーを使用すること	
24	夜間は給湯を止めること	
25	外来者に公共交通機関利用を呼びかけること	
26	従事者にマイカー通勤自粛を薦めること	
27	太陽光発電(ソーラー発電)や風力発電等を利用すること	
28	太陽熱利用(給湯・暖房等)を促進すること	
29	施設で使用する車両をエコカー(ハイブリッド車、電気自動車など)に変えること	
30	コピー用紙等の使用量を削減すること	
31	再生紙を使用すること	
32	笑気ガス(麻酔剤)の適正な使用を極力図ること	
33	施設管理者へ省エネルギー対策を徹底すること	
34	水の有効再利用をすること	
35	職員に対し、地球温暖化対策に関する研修機会の提供や、情報提供を行うこと	
36	職員に対し、地球温暖化対策に関する活動への積極的参加を奨励すること	
37	省エネ関連の認証(例えばISO14000)を取得すること	
38	その他(具体的に)	

Q5-2 貴施設では過去 5 年間にエネルギー削減のための省エネルギー診断や設備機器の更新の検討等を行ったことがありますか。(1つに○印)

1. ある 2. ない 3. わからない

Q6 医療用亜酸化窒素(笑気ガス(N₂O))の使用について

Q6-1 貴施設では、現在、医療用亜酸化窒素(笑気ガス(N₂O))を使用していますか。(1つに○印)

1. 現在使用している 2. 現在使用していない

Q6-2 平成 20 年度及び平成 21 年度における医療用亜酸化窒素(笑気ガス(N₂O))の使用量をご記入下さい。Q6-1 で「2. 現在使用していない」と選択した場合も、過去の実績についてご記入下さい。

※小数点以下第 1 位までご記入下さい。

平成 20 年度	kg/年
平成 21 年度	kg/年

Q7 改正省エネ法の施行への対応について

病院等の業務用建築物に係る省エネルギー対策を強化する省エネ法(エネルギー使用の合理化に関する法律)の改正が、平成 22 年 4 月から施行されました。

改正された内容は、事業者単位規制が導入され、事業者(法人)が経営する全ての施設が使用するエネルギー量の合計(平成 21 年度に使用したエネルギー量)が原油換算で 1,500kL 以上であれば、特定事業者として省エネ法の届出が必要となり、事業者単位で中長期計画・定期報告の作成・提出やエネルギー管理者の選任等が必要となります。

*改正省エネ法の概要:経済産業省

(<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080801/panfu.pdf>)

Q7-1 上記の改正省エネ法の内容を知っていますか。

1. 良く知っている 2. ある程度知っている 3. 聞いたことはあるが詳しいことは知らない
4. 全く知らない 5. わからない

Q7-2 改正省エネ法の施行との関連でお伺いします。

貴施設と同じ法人が運営している他の医療・介護関連施設にはどのような施設がありますか。
貴施設以外で該当する施設について全て、数量をご記入下さい。

なお、貴病院を運営する法人が所有する病院の病床の合計が 400 床以上の場合には、「1. 一般病院」のみ数量をご記入ください。

番号	貴施設以外の医療・介護関連施設	病床数、延床面積	
		病床数	延床面積
1	一般病院	病床数	床
2	精神科病院	病床数	床
3	診療所(有床)	病床数	床
4	診療所(無床)	延床面積	m ²
5	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	定床数	床
6	介護老人保健施設	定床数	床
7	特定施設入居者生活介護施設(有料老人ホーム、養護老人ホーム、ケアハウス、高齢者専用賃貸住宅等)	定床数	床
8	グループホーム	定床数	床
9	小規模多機能型居宅介護	定床数	床
10	看護学校	延床面積	m ²
11	寮、社宅	延床面積	m ²
12	保育園	延床面積	m ²
13	健診センター	延床面積	m ²
14	臨床検査センター	延床面積	m ²
15	事務所(医師会館等を含む)	延床面積	m ²
16	その他施設()	延床面積	m ²

Q8 省エネルギー活動や地球温暖化対策で必要なことについて

Q8-1 貴施設において、省エネルギー活動や地球温暖化対策を推進する場合に、必要とされることは何ですか。該当するものに、全て○印をつけてください。

1. 専門家のアドバイスがほしい
2. 省エネ情報・温暖化対策情報を提供してほしい
3. 省エネルギー診断・温暖化対策診断をしてほしい
4. 省エネ投資・温暖化対策投資の費用対効果を知りたい
5. 省エネ投資・温暖化対策投資をするにあたっての、補助金、低利融資等の紹介をしてほしい
6. 省エネ投資・温暖化対策投資をするにあたっての、補助金、低利融資等の創設をしてほしい
7. 先進事例の紹介をしてほしい
8. 人材の教育、育成をしてほしい
9. 電力会社・ガス会社等が省エネ・温暖化対策について積極的に協力してほしい
10. 市町村が省エネ・温暖化対策について積極的に協力してほしい
11. 都道府県が省エネ・温暖化対策について積極的に協力してほしい
12. 国が省エネ・温暖化対策について積極的に協力してほしい
13. 診療報酬に省エネ・温暖化対策面からの配慮をしてほしい
14. 税制に省エネ・温暖化対策面からの配慮をしてほしい
15. その他(具体的にお書き下さい。)

Q9 省エネルギー化や地球温暖化対策のための、補助・支援制度や融資制度の評価と必要性についてお伺いします。

Q9-1 現在、省エネルギー化や地球温暖化対策を大きく推進するために、公共などの補助・支援制度や融資制度が整備されていると思いますか(1つに○印)。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. よく整備されている | 2. ある程度整備されている |
| 3. どちらとも言えない | 4. あまり整備されていない |
| 5. 全く整備されていない | |

Q9-2 省エネルギー化や地球温暖化対策を大きく推進するために、公共などの補助・支援制度や融資制度の必要性について、下記より1つ選んでください(1つに○印)。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 積極的に整備すべきである | 2. 整備すべきである |
| 3. どちらとも言えない | 4. あまり整備しなくてもよい |
| 5. 整備する必要はない | |

Q10 「病院における地球温暖化対策自主行動計画」のフォローアップ調査(計画の実行・徹底のための調査)について、ご意見、ご要望事項があればご記入ください。

Q11 省エネルギー・地球温暖化対策に関して、国・県・市町村等行政へのご意見、ご要望事項があればご記入ください。

—以上で設問は全て終了です。大変ありがとうございました。—

貴病院のエネルギー使用量原単位とCO₂排出量 ＜省エネ活動実施状況のフィードバック票＞

804		
-----	--	--

下記の資料は、平成21年度にご協力頂いた「病院における地球温暖化対策自主行動計画フォローアップのための調査」にご回答頂いた資料を元に、貴病院の地球温暖化対策への対応を整理したものです。

今後の貴病院における地球温暖化対策の参考資料としてご利用下さい。

(ご注意)

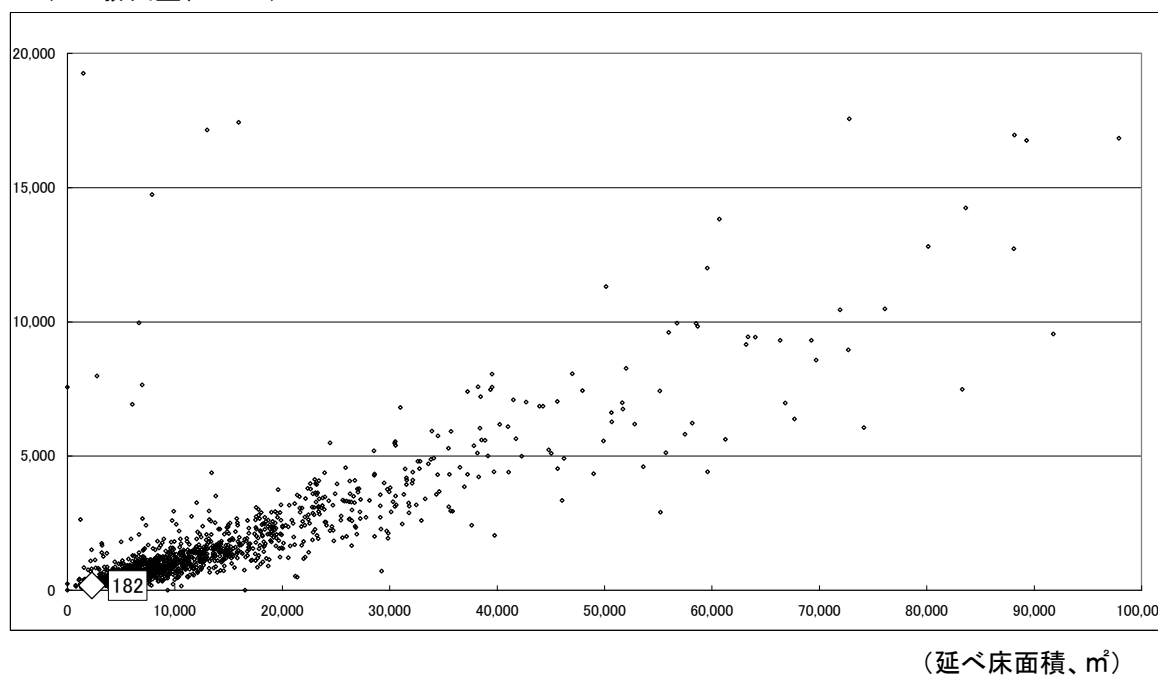
- ①本データはあくまでも貴病院のアンケート調査への回答を基に、加工・作成したものです。
- ②本票についてのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。
- ③エネルギー使用データのご記入がなかった場合には、裏面のみ記載されています。

1 貴病院の過去1年間のエネルギー使用量及びCO₂排出量原単位等は、下表のようになっています。

区 分	単 位	平成20年度
電気使用量	千kwh	307
重油・灯油使用量合計	kl	13
ガス使用量合計	km ³	4
エネルギー使用量原単位	MJ/m ²	1,688
CO ₂ 排出量原単位	kg-CO ₂ /m ²	79.8
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	182
延べ床面積	m ²	2,277

2 有効回答のあった病院全体(次の分布図)の中で、貴病院のCO₂排出量(t-CO₂)は◇印の位置にあります(平成20年度)。

(CO₂排出量、t-CO₂)



3 貴病院の省エネ活動の実施状況は、下表の通りです。全体の病院の実施項目と、貴病院における実施項目を比較して、今後の省エネ活動への取組みの参考にして下さい。

項 目	貴病院の実施項目	全体実施比率
1 日中窓側の照明器具を消すこと		62.9%
2 照明器具の清掃、管球の交換		79.5%
3 高率照明器具を使うこと		41.9%
4 使用時間に合わせ照明を点灯したり間引いたりすること	○	84.3%
5 省エネルギー型OA機器や電気機器等を導入すること		37.8%
6 待機電力削減のため、電気機器やOA機器を使用していないときに、コンセントを外すこと	○	20.2%
7 エレベーターは閑散時に一部停止すること		26.6%
8 省エネ自動販売機を導入すること		32.6%
9 深夜電力の利用	○	30.5%
10 トイレ・手洗いに節水こまを使用する等、院内における節水の推進をすること	○	64.6%
11 省エネを考慮した空調温湿度管理を行うこと	○	63.7%
12 病棟・管理部門での外気取り入れ量を適正に調節すること(手術室等を除く)		59.1%
13 空調運転の時間をなるべく短くすること		67.8%
14 夜間・中間期(春、秋)等は空調運転を止めること		76.4%
15 窓ガラスに遮熱フィルムを施工すること	○	21.6%
16 屋上緑化・周辺緑化を行うなど病院の緑化を推進すること		37.3%
17 屋上の断熱防水を行うこと		17.7%
18 外壁に断熱塗料を吹き付けること	○	5.2%
19 出入口に風除け室を設置すること	○	71.1%
20 定期的にフィルター清掃を行うこと	○	95.8%
21 建物外部の照明・広告等を省エネ化すること		32.7%
22 窓・壁・床・吹き抜け等、建築面から冷暖房負荷を低減させること		15.9%
23 温度調節機能付シャワーを使用すること		65.1%
24 夜間は給湯を止めること		29.5%
25 外来者に公共交通機関利用を呼びかけること		15.3%
26 従事者にマイカー通勤自粛を薦めること		18.5%
27 太陽光発電(ソーラー発電)や風力発電等を利用すること		1.9%
28 太陽熱利用を促進すること		4.5%
29 施設で使用する車両を低公害車(ハイブリッド車、電気自動車、天然ガス自動車、エタノール自動車)に変えること		7.1%
30 コピー用紙等の使用量を削減すること		76.2%
31 再生紙を使用すること		71.7%
32 笑気ガス(麻酔剤)の適正な使用を極力図ること		48.0%
33 施設管理者への省エネルギー対策を徹底すること		53.7%
34 水の有効再利用をすること		22.0%
35 職員に対し、地球温暖化対策に関する研修機会の提供や、情報提供を行うこと		20.2%
36 職員に対し、地球温暖化対策に関する活動への積極的参加を奨励すること		16.7%
37 省エネ関連の認証(例えばISO14000)を取得すること		1.7%

* は回答病院(N=1,513)の5割以上が実施している項目